

市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表 小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ
毎月3000部発行
年額1000円



書き留めて⑭ あさの かずこ
インパルを語りて涙す九十才
記憶の沼を胸底に溜め
「待つ」という間の時がなくなり
三分遅れを謝まるJR

12月市長選は混戦が予想される中 緩み始めた豊岡市政8年目

三島市長選まで一年を切った。八年前の豊岡市政スタートの市長選は小池前市長の退任の後、豊岡、遠藤、前田氏等による三つ巴戦であったが、豊岡圧勝に終わった。四年前の市長選は豊岡市政二期目、対抗馬が無く無投票で再選された。しかし、今年12月の次期市長選は混戦が予想される。

発足当初の豊岡市政は、「元氣・安心・希望あふれる三島 健康都市の実現を謳い、花と緑にあふれるガーデンシティみしま」の推進を掲げて、市政の効率的、効果的な運営に努め、市民、NPO等との協働や財政の健全化、効率的な財政運営を推進し「市民に役立つ行政サービスの確立」、市民、企業、自治会等多様な主体が行政と手を携え、「市民の声にしっかりと耳を傾け」一緒に課題を解決するとの決意を語っていた。しかし、この八年間の豊岡市政を振り返ると、当初の意気込みとは裏腹に市民の声を真摯に聞くこともなく市長の独断専横が顕著になって



豊岡三島市長

最近の三島市政の問題点を挙げると、三島駅南口再開発事業がある。西街区において三島市土地開発公社が、議会承認手続きも終らず用地を単独で売却した。しかも、入札は東急一社だけで決めたもので、売却価格は通常では考えられない低価格に抑えられ、売却過程も不透明のままだった。東街区開発についても、市民説明会は通り一遍で、「市

民とともに課題解決」とは程遠い進め方であった。豊岡市政による強引な独走について、グラウンドワーク三島も「水の都・みしまが壊される危険性がある」として開発反対の署名運動を展開している状態だ。更に、昨年12月18日の川勝県知事記者会見で「伊豆の玄関口としての景観を損ねる」として事業の延期も含め慎重に進めるべきとの「物言い」がいった。

昨年2月議会で、突然の副市長二人制の問題が提案され強行された。副市長二人制の理由は「近隣の市町との競争に勝ち、迅速に問題に取り組める体制」作りとし、「三ツ谷工業団地への企業誘致を積極的に進める」としているが、低迷している企業誘致が、低減している企業誘致が、副市長二人制で改善できる見通しは無い。しかも、四年前で六千万円という財政負担が重なる。豊岡市長の独走で始まり「花と緑にあふれるガーデンシティみしま」の取り

和と民主主義を象徴する憲法を改正し、祖父、岸信介の目指した戦前復興、彼らに倣うての古き良き明治の時代を甦らせようとの思惑が窺える。我々が教科書で教わった明治一五〇年の新憲法は、戦後日本の平和

も、平成27年3月に三島市、三島市観光協会、三島商工会議所を中心として設立された団体で豊岡市長が代表のことである。この団体には平成29年度、三島市が七百五十万円の負担を出している。団体全体の予算が七十五万円、しかも平成29年度予算では9月時点で三百万円は使途が未定で、前年度の三島市負担が五〇〇万円、当初八百万円の予算要求であったが、副市長査定で五百万円に減額。しかしその後、誰かの一声で七百五十万円に復活したという。

市長が関係する団体は、使い途が決まっていなくても、繰越金があっても増額した予算が簡単につく。これは基本的なルールすら無視している状態で、まさに安倍政権の「森友・加計学園」問題にみられる「付度」政治そのもののように見えてくる。豊岡市政二期目の緩みとしか思えない。

安倍9条改憲NO! 3000万署名が全国各地で始まっている。私ももちろん現政権下の9条改憲は断固反対だが、9条は前面に出さない方がいい。9条よりも9条以外の部分で前面に出して改憲反対を主張してほしい。9条を出しすぎると「ああ又いつもの…」と一括りに捉えられる恐れがあり、「9条はそのままだに代わりかえり等にも惑わされてしまおう人もいるだろう。」

ただ、改憲賛成派も9条以外については何も知らない人がほとんどであり、自民党改憲案の、9条以外のことを知ったら変わっていくのではないかと、自民党改憲案を読むと、改憲憲法で国民を縛ろうとしていることがわかる。「国民のための憲法」から「国家のための憲法」に書き換えようとしているのだ。「個人の国」ではなく、「個人の国」に災害がかかると「緊急事態条項」が加わったら、憲法うなれば国のため、個人の財産も自由も簡単に奪うことができちゃう。

改憲阻止のために

現在国民の多くは自衛隊に好意的であり、そして北朝鮮を脅威に思っている。そういう中で「9条改憲反対!」といくら叫んでも自民党の思う壺なだけであり「国民の命と平和な暮らしを守り抜く」と言う安倍9条改定に賛成する人々を憂えることはできないだろう。

だが、国民は一九九〇年と改憲状況

明治一五〇年と改憲状況

準備を進めている。それに呼応するようにNHKは大河ドラマで「西郷隆盛」を放映するとう。それらの動きを見ると、安倍政権は明治一五〇年を憲法改正の節目の年と位置付けていることは疑いない。この節目に、戦後日本の平

治は、江戸時代を抜け出し、西洋列強に追いつくため「富国強兵」を推し進め、日本の近代化を達成し、我が国の輝かしい発展の礎を築いた時代として位置づけられていた。そして明治維新の立役者らは時代を切り開いた英雄として

安倍首相が憲法を改正し、復古を目指す明治の時代が、私達の立場からは決して手放さず称賛できる時代ではなかったことを明らかにすることが重要ではないだろうか。

改定を阻止しよう!

平和講演会(入場無料)
1月21日(日)会場 13:30開演 14:00
函南文化センター
伊東千尋氏講演会
憲法世界に誇れる
憲法が誇る
主催：実行委員会
渡邊 0558-76-3667
堀内 0558-76-0460
澤村 055-978-6754
鈴木 0558-72-6845
加土井 055-975-2855
協賛 県東部9条の会

沼津市千本港町 77-4 沼津みなとアートビル
和風カフェ&ギャラリー ねこや
TEL: 055-943-5541
営業時間 10:30~17:30 休み:水曜 木曜
・ギャラリー展示・
1/6(金)~2/13(火)
太陽の画家 中島由夫展
スウェーデン在住
日本人唯一のコブラ派画家

文盛堂書店
定期購読の雑誌等、配達承ります
営業時間 9:30~19:00
住所 三島市中央町2-37 (中央町商店街)
電話 055-975-4229
FAX 055-972-3319
定休日 元旦
http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける
時計・宝飾・メガネ
小坂
時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい
三島市本町 8-1
055-975-1345

原発稼働40年間、低線量体内被曝の
蓄積で私たちの体はどうなっているの?
測定即修正デトックス
ま っ っ っ
真露のへや
国際バイオントロジー協会
認定セラピスト 三上真露
411-0801 三島市谷田 173-13
パステルコート田村 10
TEL & FAX 055-976-8765
携帯 080-3613-6869
HP http://www.akahigenohari.com/